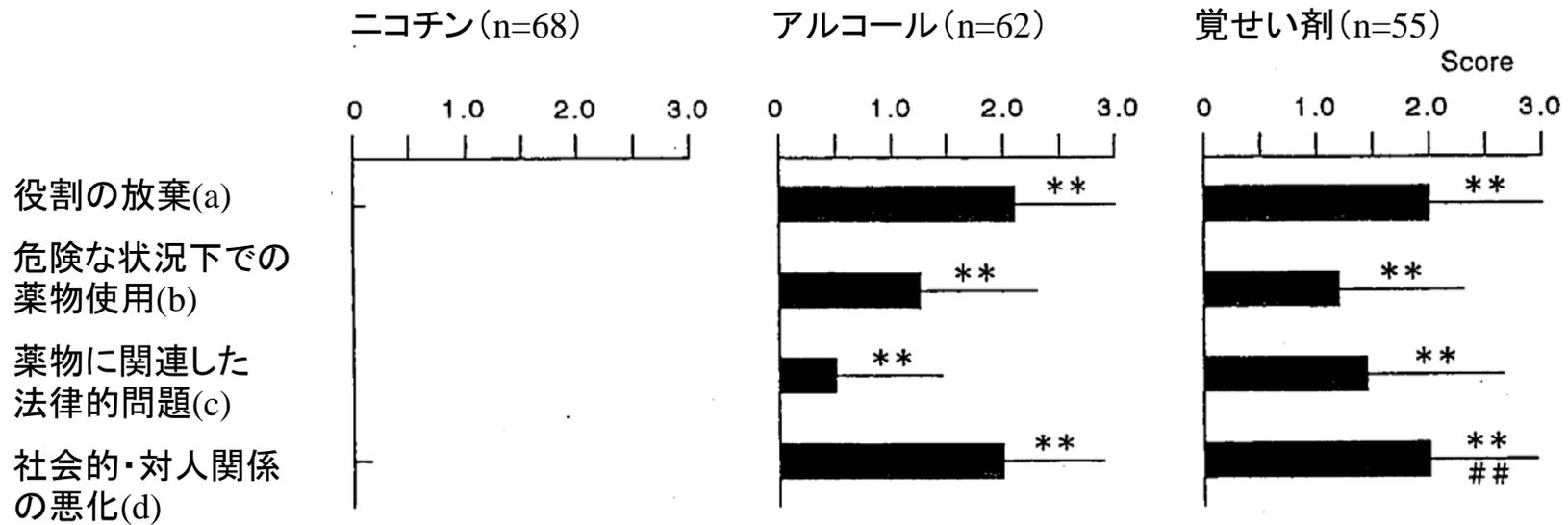


(資料4) アルコール依存症等が社会生活に及ぼす影響(ニコチンとの比較)



- (a): 仕事、学校、家庭の役割や義務を果たせない。
- (b): 身体的に危険な状況で薬物を反復使用する。
- (c): 薬物に関連した法律問題が繰り返される。
- (d): 社会的、対人関係の問題が持続し、悪化する。

「依存と依存症の観点からみたニコチン依存の臨床像の検討—アルコールおよび覚せい剤依存との比較—」
 (河野純子ら、日本神経精神薬理学雑誌, 23, 29-42 (2003))による。